

農作物の生育概況等について

1 気象経過

10月は、平均気温が平年並み、降水量は平年より多く、日照時間は最上、庄内地域で平年並み、村山、置賜地域で平年より少なかった。

2 主な農作物の生育状況

(1) 大 豆・そ ば

- ・ 10月中旬から刈取りが始まっている。着莢数は、7月の少雨の影響で圃場間差が見られる。収量は平年並みから少ない見込みである。
- ・ そばは、10月中旬から刈取りが始まっている。生育は概ね良好で、収量は平年並みの見込みである。

(2) 果 樹

- ・ 西洋なし「ラ・フランス」は、着果量及び果実肥大が前年を下回っており、収穫量は前年より少ないと見込まれる(10月3日現在の予想収穫量:12,400 t(前年比81%、平年比80%))。収穫のピークは、前年より7日程度遅い10月13日から17日頃となり、予冷品は10月28日から販売されている。品質は、小玉傾向であるものの糖度が高く、食味良好である。
- ・ かき「平核無」の収穫は、前年並の10月25日頃から始まり、現在、収穫終盤となっている。収穫量は、平年並みからやや少ない見込みである。
- ・ りんご「ふじ」の収穫は、前年並の10月末から始まり、11月中旬頃には本格化する見込みである。夏季の高温少雨の影響で、果実肥大が停滞し、その後回復しているものの全般に小玉傾向であり、収穫量は平年をやや下回る見込みである。

(3) 野 菜

- ・ 露地ねぎは、収穫終盤となっている。出荷量は、7月の高温少雨の影響で少なく推移しているものの、気温の低下に伴って太物が出荷されてきている。品質は概ね良好である。

(4) 花 き

- ・ 鉢物・花壇苗では、シクラメン、パンジー、ビオラ、はばたんが出荷されている。
- ・ 啓翁桜の収穫が10月下旬から始まっている。

3 当面の主な技術対策

〈大 豆〉丁寧な選別・調製を徹底する。

〈果 樹〉西洋なし「ラ・フランス」の厳選出荷、りんご「ふじ」、かき「平核無」の適期収穫と厳選出荷を徹底する。

〈野 菜〉施設果菜類の適切な温湿度管理、ねぎ等の露地野菜の適期収穫を徹底する。

〈花 き〉施設花きは、各品目の特性に応じた温度管理を徹底する。

〈農作業安全〉農作業事故防止のための基本的な対策を実施する。

4 令和7年産米の生産・販売状況について

(1) 9月25日現在の主食用米の予想収穫量と作付面積

道府県	予想収穫量 (t)	前年産との比較 (t)	作付面積 (ha)	前年産との比較 (ha)	単収 (kg/10a) ※1	作況単収指数 ※2
北海道	497,200	+26,800	90,400	+6,700	550	98
青森県	262,200	+39,700	43,700	+6,500	600〔2〕	102
岩手県	250,400	+15,100	46,900	+3,800	534	101
宮城県	340,900	+19,700	65,300	+6,900	522	99
秋田県	453,900	+55,400	81,200	+9,000	559	103
山形県	334,000	+44,200	57,100	+4,700	585〔3〕	102
福島県	367,800	+59,300	67,000	+10,500	549	101
長野県	182,100	+6,900	30,000	+1,000	607〔1〕	102
新潟県	569,100	+46,900	108,600	+7,200	524	102
全 国	7,153,000	+634,000	1,367,000	+108,000	524	102

※1 単収：農家等が使用している網目（山形県は1.9mm）でふるった玄米の量での公表

表中の〔 〕内の数値は全国順位

※2 作況単収指数：直近5年間の単収のうち最高値と最小値を除いた3年間の平均値と比較した指数での公表

(2) 農産物検査結果（令和7年9月30日現在）

① 県産米及び全国の一等米比率

順位	道府県	一等米比率 (%)
1	岩手県	97.6 (96.1)
2	長野県	95.4 (95.3)
3	山形県	95.0 (95.0)
4	秋田県	94.5 (92.0)
5	宮城県	93.8 (90.2)
6	福島県	92.7 (91.6)
7	青森県	92.6 (94.6)
9	北海道	91.3 (91.6)
17	新潟県	75.8 (84.0)
全国		77.0 (77.3)

※表中の（ ）内の数値は令和6年産米同期のデータ

② 県産主要品種の一等米比率

品種名	一等米比率 (%)
つや姫	98.5 (98.3)
雪若丸	97.7 (98.9)
はえぬき	94.3 (94.4)
うるち平均	95.0 (95.0)

③ 産地品種銘柄別順位（検査数量1万トン以上）

順位	産地	品種	一等米比率 (%)
1	岩手	ひとめぼれ	97.8
2	山形	雪若丸	97.7
3	長野	コシヒカリ	96.1
参考	山形	つや姫	98.5

※「つや姫」は検査数量1万トン未満のため参考表記

(3) 相対取引価格（令和7年9月）

産地	品種銘柄	価格（円／玄米 60 kg税込）		
		令和7年産米	令和6年産米	対前年比
山形	つや姫	39,754	23,096	172%
山形	雪若丸	37,984	22,428	169%
山形	はえぬき	36,974	21,741	170%
北海道	ゆめぴりか	37,701	25,971	145%
新潟	コシヒカリ（魚沼）	42,257	24,263	174%
新潟	コシヒカリ（一般）	38,613	20,858	185%

※令和6年産米価格は令和6年同期の価格